

Step 4「全日本U-14・18・21選考会及び強化練習会

兼第1回ソフトテニスジュニアジャパンカップ」を下記のとおり開催した。

期 日：11月23日～24日（選考会及び強化練習会）

11月25日～26日（第1回ジュニアジャパンカップ）

会 場：宮崎市生目の杜運動公園テニスコート

選 手：U-14（男子：40名/女子：38名）

U-18（男子：44名/女子：44名）

U-21（男子：36名/女子：36名）

指導者：30名（各カテゴリーの男女別に5名）

2. 指導者養成に関する事業

(1) 平成18年度指導者研修会として、昨年に引き続き各支部より小学生・中学生・高校生指導者の代表各1名が一堂に会し、指導者の連携を深める目的で開催した。

・期 日：平成19年2月24日（土）～2月25日（日）

・会 場：神奈川県大磯プリンスホテル

・参加者：159名（支部代表＝138名、スタッフ＝15名、専門委員長＝6名）

【研修内容】

1) 2月24日（土） 受付＝13：30～

・全体会：14：30～

あいさつ 本田茂雄（生涯スポーツ委員会委員長）

笠井達夫（専務理事）

参加者紹介、諸連絡

・分科会：14：45～ 主要テーマ

小学生「小学生クラブ育成、競技者育成プログラムの現状と課題」

中学生「競技者育成プログラムを定着させるために」

高校生「より良い競技者育成プログラムをめざして」

・懇親会：18：30～ 夕食を兼ねた懇談

2) 2月25日（日）

・全体会：9：00～

前日の各分科会での質問に対する答弁をした。

・ 野際照章（競技者育成マネジメント部会長）より、Step-3～Step-4の実施報告があった。

・ 笠井専務理事より、実施概要の報告や新たな課題に対しての方向性が示唆された。

・分科会報告（9：15～10：00）

小学生（丹崎健一＝小学生部会長）

小学生クラブの現状把握と育成のための組織化および競技者育成プログラムの推進に関わり日程調整、選考基準（将来性の発掘）の問題が提起された。

中学生（間中和男＝生涯スポーツ委員会委員）

競技者育成プログラムのStep-2～Step-4を実施しての課題について、育成目的を見据え可能性を持たせる指導実践の取り組みを期待したい。

高校生（田部井喜行＝生涯スポーツ委員会委員）

競技者育成プログラムについて、Step-2スムーズな導入、Step-3

の採点方法の改善が要望された。U制の中で高校3年生の扱いが課題となった。

- ・質疑応答(10:30~12:15)  
一貫指導システムとしての競技者育成プログラムをより良いものにするため  
およびソフトテニスを普及振興させるための取り組みについての意見や要望が  
出された。
- ・閉会(12:15~12:30)  
本田委員長の閉会のあいさつと諸連絡
- ・解散(12:30~13:00) 昼食後に解散

(2) (財)日本体育協会公認コ-チ養成専門科目講習会

1) 日程(前期): 9月22日(土)~23日(日)

(後期): 12月22日(金)~24日(日)

2) 会場: 千葉県白子町「サニーインむかい」

3) 受講者: 86名

【講習内容の概要】 = 前期 = 後期 ( ) = 講師

- ・基礎理論
  - 「ソフトテニスの現状と課題」 (石井)
  - 「ソフトテニスの技術指導理論」 (時安)
  - 「アンチドーピングの実際」 (永井)
  - 「ソフトテニスの生理学」 (水野)
  - 「ソフトテニスの健康管理と安全対策」 (水野)
  - 「ソフトテニス選手の栄養サポート」 (川野)
  - 「ソフトテニスのバイオメカニクス」 (井田)
  - 「ソフトテニスの技術指導理論」 (小野寺)
  - 「ソフトテニスのルール・審判法」 (柳下)
  - 「ソフトテニスのトレーニング」 (中島)
  - 「ソフトテニスのコーチング論」 (石井)
  - 「ソフトテニスの心理的サポート」 (立谷)
- ・指導実習
  - 「ソフトテニスの実践技術指導法と実践指導と  
ジュニアのための指導DVD」 (時安・榎並)
  - 「指導計画の作成」 (西村)
  - 「健康管理と現場における救急処置」 (永井)
  - 「中級・上級の応用技術指導法」 (小野寺・高橋)
- ・実技
  - 「実践的コーディネーショントレーニング」 (石井・高橋)
  - 「ソフトテニスの実践技術1、ベースラインプレーヤー」 (時安・榎並)
  - 「ソフトテニスの実践技術2、ネットプレーヤー」 (榎並・高橋)
  - 「ソフトテニスの審判法」 (柳下)
  - 「ソフトテニスの実践技術、シングルス」 (神崎・高橋)
  - 「ソフトテニスの戦略・戦術、コンビネーション」 (神崎・高橋)
- ・検定試験 (石井)

(3) 指導者バンクの立ち上げ

競技者育成プログラムの推進等のため日本連盟として指導者を確保する必要から、各支部の推薦を受けた指導者バンクを整備している。

なお、地域における普及活動を支援するための指導者バンクも整備している。

(4) 地域スポーツ指導者養成事業

ア．指導員養成講習会専門科目開催事業 11会場 実施都道府県（宮城県 福島県 栃木県  
埼玉県 長野県 静岡県 奈良県 和歌山県 岡山県 香川県 徳島県）

イ．上級指導員養成講習会専門科目開催事業 2会場 実施都道府県（山梨県 新潟県）

3. 地域グループ育成に関する事業

各支部に対し会員登録料（一般の20%、中学生の20%、小学生の50%）を還元し、地域  
クラブ・ジュニアクラブの育成等の充実を図った。

また、各支部に対し中学生大会、レディース大会、ソフトテニスの日、指導者バンクの補助を  
行った。

4. 国内競技会に関する事業

別表1のとおり諸大会を実施した。

(注) 別表1(P41~43)のうち、

全日本選手権大会はスポーツ振興基金の助成(1,500,000円)あり。

5. 地域における競技会に関する補助事業

9地区選手権大会、9地区高等学校選抜大会、10地区中学校選手権大会、壮年東西対抗大会、  
超壮年東西対抗大会、全日本学生同好会大会の開催に対して補助を行った。

6. 公認審判員制度に関する事業

(1) マスターレフェリー46名、マスターアンパイヤー56名を認定した。

(2) 公認審判員の認定を次のとおり行った。

(数値：名)

1級	新規	83
	更新	206
2級	新規	4,859
	更新	4,552
	高校生	18,086
ジュニア		18,373
計		46,285

(注) 都道府県別認定者掲載数は別表2(P44)に掲載

参考：過去5年間の実績

(数値：名)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
1級	405	304	410	415	350
2級	8,821	11,845	9,657	10,322	9,956
高校生	10,572	10,940	14,533	20,246	18,344
ジュニア	9,060	9,247	11,931	10,787	16,034
計	28,858	32,336	36,351	41,770	44,684